



山岡 幹雄 議員

合併10年後の現状と課題は

問 市内、ごみのポイ捨てが多く見られる。また当市も多くの河川に囲まれているが、河川の堤防の対策は。

市民生活部長 ごみのポイ捨ては、個々のマナーの問題で、広報誌、立て看板で啓発している。

経済建設部長 河川パトロールにて点検・巡視、および順次堤防整備を進めている。

問 空き缶等ごみ散乱防止条例には、土地の所有者が管理するのか。

市民生活部長 自分の所有地、管理地は、自らが清掃、雑草の除去を実施し、清潔に努めることとしている。

問 堤防の改修がされていない箇所があるが、大丈夫か。

経済建設部長 土地所有者の用地協力があれば、進めていきたい。暫定的な工事で堤防高を確保し

ている。

市公共施設の建築後は大丈夫か

問 佐織中のくい打ちデータの改ざん問題で、市として調査するのか。

総務部長 県と協議の上、元請業者による地質調査を予定している。

問 総合斎苑の建物と駐車場の間に段差ができ、ひび割れしている。原因と対策は。

市民生活部長 車寄せと道路との高低差5cmほど。表層から13m〜35m付近の層について、軟弱な粘性土で、沈下量18・5cm。今回の車寄せ道路割れ目の原因はまだはっきりしていない。適切な時期をみて全面舗装を行う。

問 今回問題の総合斎苑工事について、調査と説明を。

市民生活部長 業者に照会后、説明させていただく。

市長 設計会社に説明を求める。



▲愛西市総合斎苑



真野 和久 議員

市直営で特色ある図書館づくりを

問 9月議会で、図書館の指定管理を検討している旨の答弁があった。図書館の役割は、地域事情や市民の希望に添いながら図書や資料などを収集、市民の利用をはかる、職員が市民の図書の相談に乗る、研究の成果を活用するなど多岐にわたり、職員の専門性や継続性が強く求められる。だからこそ、政府も答弁や記者会見で指定管理にまじまじと言っている。

図書館の指定管理のメリット・デメリットは。また、指定管理計画の内容は。図書館は直営で運営すべきと考えるが、市直営で改善を図ることはできないのか。

企画部長 指定管理者制度の導入ありきではなく、よく検討した後、導入するかどうかを決めたい。メリットは、民間のノウハウの活用で、多様なサービスの立案、多くの人材を活用して事業を計画的に行うことが可能。また、公募による競争原理で経費などの削減が可能になる。

デメリットは、一般論として郷土、行政資料の収集が滞る、事業者が交代することで運営の安定性を欠く、図書館に熟知した職員がいなくなり、